

【1】新市場販路開拓事業

1 収支決算額

○ 収入決算額：30,591,000円

(事業収入：5,358,000円、市負担金収入：25,233,000円)

○ 支出決算額：30,591,000円

2 事業の成果

◆ **受注促進・販路開拓支援事業**：新型コロナウイルス感染症の影響により、引き合い件数は前年度より減少したものの、成約件数及び成約率は前年と同程度を維持することができた。案件の内容としては、巣ごもり需要により生活関連商品の新規製造及び既存品照会の引き合い件数が増加した。成約案件としては、工業用刃物や機械加工、表面処理、板金加工といった初期投資が抑えられる加工分野が成約に至る傾向であった。

燕三条ものづくりメッセは、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面型からオンラインに変更して開催した。来場者数は大幅に減少したものの、県外来場登録者の割合が対面型よりも増加した。また、パネルディスカッションや技術講演会といったオンラインセミナー聴講者は、対面型の会場では収容できない人数の聴講があり、場所や時間などの制限を受けにくいオンライン開催のメリットが反映されたものと思われる。

3 実施事業

(1) 受注促進・販路開拓支援事業（担当：企業支援課）

(収入決算額：2,160,284円、支出決算額：2,160,284円)

① 地域外企業訪問による受注促進

新型コロナウイルス感染症の影響により、地域外企業への訪問は実施できなかったため、電話やメール等で対応した。

年度	受注斡旋(件)				引合件数小計	各種 相談
	成約	見 積 中	対 応 企 業 紹 介	不 成 約		
R2年度	50	49	353	14	466	149
R元年度	55	59	388	27	529	170
H30年度	67	56	448	17	588	197

・ 引き合いの主な分野

- 1) 表面処理 (56件 10.3%)、2) 生活関連商品 (55件 10.1%)、
- 3) 各種加工対応企業紹介 (53件 9.8%)

・ 成約の主な分野

- 1) 各種加工対応企業紹介 (8件 14%)、2) 各種刃物/工業用刃物 (7件 12%)、
- 3) 機械加工・表面処理・板金加工 (各6件、各10%)

・ 受発注打合せ件数

(単位：件)

年度	地域内(市内) 企業訪問	地域外(県内) 企業訪問	県外企業 出張訪問	県内企業 来室打合せ	県外企業 来室打合せ
R2年度	40	4	0	17	23
R元年度	550	102	121	96	109
H30年度	516	112	145	105	150

② 燕三条地域企業との技術系・専門分野展示会への共同出展等による受注促進

新型コロナウイルス感染症が拡大し、安全で効果的な出展が困難となったため、当初予定していた、「第23回関西機械要素技術展（R2.10/7-9、インテックス大阪）」、「高精度・難加工技術展2020（R2.10/14-11/13、東京ビッグサイトからオンライン開催へ変更）」及び「第25回機械要素技術展（R3.2/3-5、幕張メッセ）」は出展を見合わせた。

また、グライディング テクノロジー ジャパン 2021（R3.3/2-3/4、幕張メッセ）では、主催者（日本工業出版、フジサンケイ ビジネスアイ）の要請があり、燕三条地域で製造された工業用および民生品の刃物12点を展示いただき、当地域の加工技術のPRを行うことができた。

③ 展示会出展サポート事業【新規】

新型コロナウイルス感染症の影響により、多くの展示会が対面形式からオンライン形式に変更されたため、オンライン形式のセミナーに変更して開催した。8社12人が受講し、展示会専門接客トレーナーからWebミーティングによる商談ノウハウ等を学びスキルアップを図った。

④ ものづくり産地との連携促進【新規】

新型コロナウイルス感染症の影響により、当初参加を予定していた商談会は延期やオンラインへの変更のため、地域企業の参加は殆どできなかった。

また地場産センター単独出展として予定していた「BIZ SAITAMA さいたま市産業交流展2020（R3.11、ソニックシティ）」、「第25回高度技術・技能展 おおた工業フェア2021（R3.3/10-3/11、大田区産業プラザPiO）」も中止となり、PRを行うことが出来なかった。

なお、ものづくり産地の団体と燕三条地域企業で、将来の受発注に繋げるきっかけとするため、Webミーティングツールを使って実施した。参加企業の自社PRと業界及び各地の景況といった共通テーマでのオンライン情報交換を行い、引合いにも繋がった。

	相手先	開催日	参加企業
1	協同組合高津工友会（神奈川県川崎市）	R3.2/12	高津工友会 5社、 燕三条 6社
2	津山ステンレスネット（岡山県津山市）	R3.3/19	津山ステンレスネット5社、 燕三条 4社

⑤ 地域内外企業への情報提供

- 1) 登録企業約650社を対象として、ものづくり産地で開催される商談会の募集案内やセミナー開催案内などをFAXで配信した。（リサーチコア通信：4回）
- 2) 地域企業の受注を促進するため、これまで当センターに問い合わせ頂いた県外企業の発注担当者等（約1,500人）へ地域企業の加工技術や新製品を紹介する情報をメールで配信し、燕三条地域への受注促進を図った。（新潟発！燕三条ものづくり情報：7回）

(2) 燕三条ものづくりメッセ開催事業（担当：企業支援課）

（収入決算額：28,430,716円、支出決算額：28,430,716円）

日本海側最大級の見本市として6年間開催してきたが、新型コロナウイルスの感染の状況を踏まえ、インターネット上で技術・製品のPRと商談を行うオンラインでの見本市として特設ホームページにて開催した。ほぼ全ての出展企業が紹介動画を用意（燕三条地域内企業は出展料の範囲で作成）してPRを行うとともに、展示会接客専門トレーナーを講師にして、オンラインによる商談ノウハウ等を学んだうえで会期に臨んだ。

来場者数は大幅に減少したが、東京都、大阪府といった県外来場登録者の割合が対面型よりも増加した。また、パネルディスカッションや技術講演会といったオンラインセミナー聴講者

は、対面型の会場では収容できない人数の聴講があり、場所や時間などの制限を受けにくく、気軽に参加できるオンライン開催のメリットが反映されたものと思われる。

- ・ 名称：オンライン見本市「燕三条ものづくりメッセ 2020」
- ・ 会期：令和2年10月22日(木)・23日(金) 10:00～17:00
(プレオープン10月15日(木)～)
- ・ 会場：特設ホームページ (URL <https://tsm.tsjiba.or.jp/2020online/>)
- ・ 出展規模：172社・団体
内 訳：燕三条地域[104] 他の新潟県内[33] 県外[35]
分野別：加工技術[103] 機械装置[21] 民生品[21] ソリューション[22]
教育・研究機関[2] 産業支援[3]
- ・ 来場登録者数：1,763人
内 訳：10/15～21 887人、10/22 629人、10/23 247人
(会期後の来場者：10/24～R3.3/31 148人)
- ・ オンライン商談等：オンライン商談申込数 258件、商談件数 170件
メッセージ交流発信数 2,461件、既読 1,468件、返信 570件
- ・ 成約件数：15件 (展示会終了後のアンケート結果による)
- ・ オンラインセミナー：
 - ① パネルディスカッション
テーマ：「コロナ禍が続く困難な状況下でのものづくり中小企業を考える」
ーグローバル・ニッチトップ企業等の対応と今後の展開ー
日 時：令和2年10月22日(木) 15:30～17:00
聴講者：245人
登壇者：司会者 新潟県立大学 国際経済学部 教授 細谷 祐二 氏
パネリスト (株)ベルニクス取締役 会長 鈴木 正太郎 氏 (埼玉県さいたま市)
(株)メトロール 代表取締役 松橋 卓司 氏 (東京都立川市)
(株)ハイサーブウエノ 代表取締役社長 小越 元晴 氏 (三条市)
 - ② 技術講演会
テーマ：「中小企業での金属 3D プリンタの活用」
日 時：令和2年10月23日(金) 13:30～16:00
聴講者：191人
演 題：「金属 3D プリンタがもたらす「ものづくり」の変革にむけて」
金沢大学 設計製造技術研究所 教授 古本 達明 氏
「金属 3D プリンタ活用術～従来製造技術との融合～」
石川県工業試験場 機械金属部 副部長 舟田 義則 氏
「金属 3D プリンタの活用と課題」
三菱重工工作機械 (株) 取締役 二井谷 春彦 氏
「3D プリンタ樹脂造形品のめっきについて」
(株)高秋化学 代表取締役 高橋 靖之 氏
「3D プリンタ造形品の研磨技術について」
(有)徳吉工業 代表取締役 徳吉 淳 氏

【2】企業開発力強化事業

1 収支決算額

○ 収入決算額：6, 148, 276円

(事業収入：2, 520, 632円、市負担金収入：3, 284, 244円

その他補助金収入：343, 400円)

○ 支出決算額：5, 894, 972円

2 事業の成果

- ◆ **産学連携共同研究開発事業**: 当地域企業の生産技術や加工技術の高度化を目標として、ものづくりフォーラムと4つの専門研究会を開催した。各研究会では設定したテーマに応じた最新の技術情報を提供し、地域企業が抱える共通の課題やテーマを解決するために各種の試験を実施。試験によって得られた知見は参加企業と共有した。
- ◆ **技術開発総合支援事業**: 当地域企業からの腐食・防食、変色、表面処理、接合不具合、異物の解析、知的所有権などの相談に対して、当センター機械設備の活用や技術職員の対応によって課題解決を推進した。

3 実施事業

(1) 産学連携共同研究開発事業 (担当：技術開発課)

(収入決算額：2,607,358円、支出決算額：2,607,358円)

① 技術開発ワークショップ【新規】

地域企業の技術力向上を目指して大学との連携によって技術・製品開発の手法を少人数で緊密にディスカッションしながら学ぶワークショップを開催した。ワークショップではヒッチキャリアカーゴ(自動車後部に装着する荷物積載用フレーム)の開発を目標として関係法令や知的財産、製品開発事例の調査、強度計算などを行った。

・期間(回数): 令和2年7月～令和3年3月(8回実施)

・主な指導者: 長岡工業高等専門学校 機械工学科 准教授 金子 健正 氏

・参加者: 5人(5社)

② ものづくりフォーラム

地域企業の技術力向上のため、自社製品の開発手法から工業製品の要となる潤滑、DX、表面処理などトピックを紹介した。各セミナーでは製品開発や生産技術などの勘所を紹介いただき、地域企業の技術力向上に努めた。

・期間(回数): 令和2年8月～令和3年3月(4回実施)

・参加者: 延べ202人

	日時	テーマ	講師	参加人数
1	R2.8/24	中小企業のための 自社製品開発セミナー	(有)エフディー 代表取締役 萩野 光宣 氏	54人
2	R2.11/5	潤滑油と摩擦・摩耗の化学	(株)IHI 新潟オフィス 山根 正明 氏	33人
3	R3.3/5	一度は聞いておきたい 中小規模製造企業のDXセミナー	(独)情報処理推進機構 社会基盤センター 五味 弘 氏	87人
4	R3.3/18	二輪・自動車メーカーで 開発された高機能材料の活用	本田技研工業(株) 各技術担当エンジニア	28人

③ 専門研究会

1) 接合技術研究会

地域企業の溶接技術や品質の向上を目的として、レーザを用いた接合技術や金属粉末の積層造形技術に関する最新情報を提供した。

- ・期間(回数):令和2年9月～令和3年3月(3回実施)
- ・指導者:長岡技術科学大学 工学部 機械創造工学専攻 教授 宮下 幸雄 氏
- ・参加者:10人(7社)

2) 表面技術研究会

新潟大学、新潟県工業技術総合研究所と協力して地域企業における洗浄工程の効率化を目標として、ファインバブル等を活用した洗浄技術の開発と情報提供を行った。研究会では汚れ落としの原理、最新の技術情報を提供した。また、ファインバブルを用いた洗浄試験を行い、試験によって得られた隙間洗浄効果の知見や新潟大学、新潟県工業技術総合研究所での実験結果を会員企業と共有した。

- ・期間(回数):令和2年7月～令和3年3月(5回実施)
- ・指導者:新潟大学 自然科学系 生産デザイン工学系列 准教授 牛田 晃臣 氏
- ・参加者:24人(19社)

3) IoT センシング活用技術研究会

生産現場のIoT(Internet of Things)や製品のIoT化を図るため、参加企業自身が装置を構築できるように基礎実験や情報提供を行った。基礎実験ではセンサーからのデータ取得からサーバーへのデータ蓄積の演習やAIによる画像認識の仕組みの基礎を実験し、会員企業各社がIoTの運用方法について検討を進めた。

- ・期間(回数):令和2年6月～令和3年2月(4回実施)
- ・指導者:長岡技術科学大学 名誉教授 山崎 克之 氏
- ・参加者:17人(8社)

4) カutting技術研究会

切削加工の高能率化や高品質化を目標として超アルカリイオン水クーラントや超音波重畳クーラント、切削条件選定プログラムなど最近の技術情報を提供した。また、ステンレスなど難削材が多く仕上げ加工が課題となっている金属積層造形品の仕上げ切削加工試験に取り組み、実験によって得られたデータを会員企業と共有した。

- ・期間(回数):令和2年7月～令和3年3月(7回実施)
- ・指導者:長岡技術科学大学 工学部 機械創造工学専攻 教授 磯部 浩巳 氏
- ・参加者:14人(12社)

(2) 技術開発総合支援事業 (担当:技術開発課)

(収入決算額:3,540,918円、支出決算額:3,287,614円)

① 燕三条のピリ辛技術の調査【新規】

地域企業の加工技術を広く集め、詳細を分析して、まとめるための方向づけを行った。

② 職員による技術相談

燕三条地域の企業からの付着した異物の解析、表面処理、腐食・防食、変色、接合不具合、製品の評価・測定方法などの相談に対して、センター技術職員が機械設備を活用しながら解決策や改善策を提案した。

- ・相談件数:98件(59社)

③ 技術専門家派遣

地域企業が抱える技術的な課題に対して専門家を派遣して課題解決に向けたアドバイスを行った。

④ 知的財産権相談

特許や実用新案、意匠などの知的所有権を地域企業が戦略的に活用するため、当地域の産業に精通した弁理士による月1回のオンライン相談を含めた個別相談会を実施した。自社保有の商標、意匠、実用新案に関する相談が多く、ネット通販などでの模倣品対策に関する相談にも対応した。

- ・指導者:ジーベック国際特許事務所 所長 清水 善廣 氏、弁理士 小松 悠有子 氏
- ・相談件数:28 件(18 社)、出願に繋がったもの:6件(特許1件、意匠2件、商標3件)

⑤ 機器利用促進

【機械設備利用状況】

名 称	R2 年度	R 元年度	H30 年度
3D測定レーザー顕微鏡	38	13	21
多関節型 3 次元デジタイザー	29	35	17
蛍光X線分析装置	45	36	34
走査型電子顕微鏡	2	6	2
レーザーマーカ	22	15	38
デジタルマイクロスコープ	14	5	5
3 次元デジタイジング装置	25	16	13
3 次元デザイン CAD システム	57	49	24
万能塑性加工試験機	10	3	1
雰囲気熱処理装置	26	22	25
3D プリンター	26	25	9
顕微フーリエ変換赤外分光光度計	11	3	-
汎用旋盤、電気炉、精密天秤など	11	5	2
合 計	316	233	191

※顕微フーリエ変換赤外分光光度計は令和元年 9 月から有償での供用開始

【3】燕三条ブランド推進事業

1 収支決算額

○収入決算額：35,347,842円

(事業収入：131,300円、市負担金収入：35,216,542円)

○支出決算額：35,347,841円

2 事業の成果

◆ **燕三条ブランド推進事業**: 燕三条ブランド強化・発信事業では、新型コロナウイルス感染症拡大のなか、現地スタッフと連携することで、首都圏でのGマーク受賞展示や「GINZA SIX」内のレストランでイベントを開催し、燕三条の魅力を発信する機会を創出した。

「燕三条 工場の祭典」は新しい取り組みとして1ヵ月にわたり動画とライブ配信を行った。実際の工場見学では見ることができない工程や技術、職人の姿などにより燕三条のものづくりの魅力を伝えた。また、公式サイトに映像を掲載し、燕三条のKOUBA情報を通年で発信するサイトとして活用できるよう整備した。

プライドプロジェクト事業では、紙媒体からウェブへの移行やVRを活用した情報発信などの新しい手法を取り入れることで、コロナ禍でネット利用が増えるなか、より広く地域内外へ向けて情報を発信した。

3 実施事業

(1) 燕三条ブランド推進事業

(収入決算額：35,347,842円、支出決算額：35,347,841円)

① 燕三条ブランド強化・発信事業

1) グッドデザイン賞取得支援

主催者より今年度は説明会を開催しない旨の発表があり4月予定の応募説明会を中止したが、ホームページで応募方法等について周知を行い、個別の相談対応を行った。

また、例年行っていた燕三条での受賞式及びプレゼンテーションが中止となったことから、受賞者を対象とした審査員による講評会をオンラインで開催した。

- ・開催日：令和2年12月25日(金)
- ・講師：GEN SUZUKI STUDIO 代表 鈴木元氏
- ・参加者：4社(受賞企業10社/20件)

2) 首都圏でのGマーク受賞品PR展示

「Good Design Award 2020 燕三条」

- ・会期：令和2年12月18日(金)～12月27日(日)
- ・会場：GOOD DESIGN Marunouchi(東京都千代田区丸の内)
- ・来場者：1,948人

3) リサーチコア デザインギャラリーを活用した受賞製品等の展示発信

- ・燕三条地域の2019年度・2020年度グッドデザイン賞受賞商品の展示
- ・ジャパン・ツバメ・インダストリアルデザインコンクール2020受賞商品の展示
- ・海外販路開拓に取り組んでいる商品の展示
- ・プライドプロジェクト活動内容の展示(ブランキングアート、畑の朝カフェ)

4) 地域デザイン団体活動支援

- ・燕三条デザイン研究会(会員：55人、全体例会2回(うち書面決議1回)、役員会2回)
- ・つばめデザイン研究会(会員：6人、全体例会実施せず)

② 「燕三条 工場の祭典」

10月に開催予定であった、第8回「燕三条 工場の祭典」は中止したが、「Stay Safe 生きる、KOUBA」と題したポスターを製作配布し、各KOUBAが掲示した画像をSNSで配信して開催中止を告知すると共に、ものづくりの未来へと繋いでいく前向きな姿勢とその意気込みを喚起するメッセージを発信した。

1) 「LIVE! KOUBA -燕三条 動画と配信-」の開催

KOUBA（工場、耕場、購場）の様子やものづくりの現場の製造風景などを日ごとに異なるテーマを設けて1ヵ月にわたりオンラインで配信することで、燕三条の職人ともものづくりの魅力を発信した。

- ・開催期間：令和2年10月1日（木）～31日（土）
- ・配信数：動画配信39本／ライブ配信23本
- ・視聴数：総視聴数101,498回／平均視聴数1,637回

2) 公式サイトのリニューアル

2013年から2019年までの「燕三条 工場の祭典」開催概要や参加KOUBA情報を掲載し、KOUBAの検索も可能にした。また、産地の歴史やものづくりの歴史なども掲載し、通年で活用できるサイトとした。

③ 燕三条プライドプロジェクト

燕三条ブランド推進を図るため、各プロジェクトの活動を支援した。

1) プロダクトグループ

シェフの提案をもとに食材と道具の選定を行い、首都圏において燕三条の魅力に触れるイベント「燕三条・食と匠の出会い」を開催した。また、開催に先駆けメディアを対象とした試食会を実施した。【新規】

- ・会場：THE GRAND GINZA レストラン“極”
- ・開催期間：令和2年9月18日（金）～10月18日（日） 31日間
- ・協賛企業：15社（製品12社、食品・食材3社）
- ・メディア発表会：9月18日（金） ①13:00～14:30 ②15:00～16:30
- ・参加メディア数：14社
- ・期間来客数：109人（54組）／248席 ※最大8席／日

2) レストラングループ

○燕三条「畑の朝カフェ」の開催

燕三条農業（農産物）のブランド化を目的に、田畑のロケーションを活用し、朝の農園で体験や朝食を楽しむイベントを開催した。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、5月、8月は食事の提供を行わずに体験のみに変更するなどの対応を行って実施した。

開催日	開催会場	参加人数	備考
5月24日（日）	ハーヴェスト：燕市	45人	蜂蜜収穫体験と試食
8月2日（日）	小杉農園：燕市	16人	梨の収穫体験 ドライフルーツづくり体験
9月6日（日）	かねこ農園：燕市	19人	梨の収穫体験 燕三条の包丁体験
9月27日（日）	渡辺果樹園：三条市	15人	農園の散策 ぶどうの食べ比べ

○「摘果講習会」の開催

専門的な体験や知識を通じたより深い「畑の朝カフェ」ファンづくりを目的に開催した。

- ・開催日：令和2年6月28日（日）
- ・会場：渡辺果樹園（三条市）
- ・参加人数：12人

3) ツーリズムグループ

新型コロナウイルス感染症拡大防止による変更や中止に対応するため、イベントパンフレットの製作を廃止してウェブサイトにて情報を掲載し、サイトの周知と活用を推進した。

○燕三条まちあるき事業

地元ナビゲータと一緒に巡ることでより深く「燕三条」の魅力に触れることができる「燕三条まちあるき」を開催し、地域団体のコース企画の取りまとめや発信等イベント運営の総括を行った。春の開催は新型コロナウイルス感染症拡大防止による施設利用の制限や行事の中止等の影響により、15コース及び「まちあるきシンポジウム」は中止となった。

《2020春》 ・開催期間：令和2年4月4日（土）～5月31日（日）

・コース数：2コース（中止15コース）

・参加人数：48人

《2020秋》 ・開催期間：令和2年10月4日（日）～11月8日（日）

・コース数：9コース

・参加人数：84人

○燕三条グリーンツーリズム事業の推進

自然体験などのイベント情報を取りまとめ、ウェブサイトを活用した発信を行った。イベントの延期や内容変更に対応できるように掲載サイトを修正し、サイトの活用を周知した。

・関係団体17団体、Web掲載5イベント（R元：15団体、パンフレット掲載42イベント）

4) プロモーショングループ

○ブランキングアート展 2020

製品の製造工程などで排出される事業排出物（ブランク材）を用い、創意工夫と技術によって再び生まれ変わらせることで「ものづくりの心と技」を表現する取り組みで、第7回目となる「ブランキングアート展」の企画運営を行った。新型コロナウイルス感染症対策としてイベントHP上に「VR展示場」を公開し、より広範囲な情報発信を試みた。

・開催期間：令和2年10月9日（金）～令和3年1月11日（月）

・出品数：10作品

・会場：JR燕三条駅観光物産センター「燕三条Wing」

燕三条地場産業振興センター リサーチコア3F デザインギャラリー
ブランキングアートVR展示場（令和2年10月20日（火）～）

・来場者数：延べ約3,500人（うち、VR展示場アクセス331人）

・その他：「ブランキングアート巡回展 2020」

三条市体育文化会館：令和3年1月14日（木）～3月31日（水）

5) プライドプロジェクト会議 開催回数

グループ名 (人数)	会議など (回)
プロダクト (16)	3
レストラン (17)	9
ツーリズム (24)	10
プロモーション+ JR 燕三条駅 Pro (11)	5
合 計 (68)	27

6) 燕三条ブランド推進会議の開催

- ・開催日：令和2年7月20日（月）
- ・委 員：5人
- ・内 容：令和2年度 燕三条ブランド推進事業について
 燕三条ブランドマークの使用申請について（1件を認証）
 燕三条プライドプロジェクト事業の今後の展開について

7) 燕三条ブランドマーク使用認証の推進

- ・認 証 数：1アイテム
- ・総認証数：281 アイテム（35社・団体）

④ 燕三条の観光情報発信等

地域のイベント等の中止により観光情報サイトに掲載すべき新着情報が少なかったが、「オープンファクトリーマップ」を更新するなど、掲載情報の充実を図った。

⑤ 燕三条 Wing の活用

1) 燕三条 Wing の状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため19日間休館（4/22～5/10）

年度	来場者数
R2	28,648人（約2,387人/月）
R元	74,781人（約6,231人/月）

2) 観光コンシェルジュ対応状況

新型コロナウイルス感染症拡大防止による臨時休館、外出自粛等の影響を鑑み、4月、5月及び9月以降の観光コンシェルジュを休止した。

- ・令和2年度：4件/15日（令和元年度：97件/64日）
- ・分野別照会件数

年度	待ち時間	工場見学	施設紹介	食	交通	買物	その他
R2	0	1	0	0	2	1	0
R元	9	13	16	18	22	5	14

3) 燕三条 Wing を活用した発信

実施期間	内 容
R2.10/9(金) ～R3.1/11(月・祝)	ブランディングアート2020作品の展示及び ウィンドウ広告の設置
通年 (R3.3リニューアル)	オープンファクトリーマップのウィンドウ掲示

【4】 企業人材育成事業

1 収支決算額

○ 収入決算額：11,448,281円

(事業収入：4,727,851円、市負担金収入：6,720,430円)

○ 支出決算額：10,513,581円

2 事業の成果

- ◆ **技術力強化支援事業**: 地域企業の技術系人材を育成するため、新人から経験を積んだ方までを対象として4分野のセミナーを開催した。受講者の理解を助ける事前講習や実習を組み合わせることで受講者の理解度/満足度を高め、地域企業の技術力向上を推進した。
- ◆ **経営力強化支援事業**: 地域企業の経営力向上を支援するため、経営系/情報系セミナーを開催した。経営系/情報系セミナー受講者へのアンケートでは受講者の高い理解度と満足度が得られ、人材育成に貢献した。また、メルマガや広報誌の発行によりリサーチコア実施事業の広報活動を展開した。

3 実施事業

(1) 技術力強化支援事業 (担当：技術開発課)

(収入決算額：3,252,150円、支出決算額：2,651,151円)

製造に携わる方々に必要な基礎知識を身につける基礎コース、専門分野を集中的に学ぶ専門コースを開催した。新型コロナウイルス感染症対策のため、開催時期の調整や延期したセミナーがあった。また、受講者の理解を深めるため一部で事前セミナーや実習を併催した。

- ・全13コース、63回、162時間、募集200人/実績188人
- ・理解度60%以上の受講者：73% / 満足度「良かった」以上の受講者：77%

① 新人基礎コース

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
1) 図面の見方と金属材料・加工基礎講座(※1)	R2.4/16、6/2、6/9 (6h×3回)	15	14

※1. 緊急事態宣言により第2回、第3回を4月から6月に延期して開講

② 技術基礎コース

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
1) 金属材料基礎講座(※2)	R2.9/23～11/19 (3h×8回、2h×1回)	20	15
2) 図面の見方・描き方入門講座(第1期)	R2.8/18～9/15 (2h×9回)	15	18
図面の見方・描き方入門講座(第2期)	R2.11/10～11/26 (2h×9回)	15	19
3) 製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座	R2.6/17～7/15 (2h×5回)	15	14
4) 3D-CAD/CAE 入門講座	R2.9/16～10/2 (4h×3回、事前講習は9/14) 3h×1回)	15	17
5) 機械要素設計基礎講座	R2.11/20～12/4 (3h×3回)	15	10
合 計		95	93

※2. 新型コロナウイルス感染症対策のため、5月に募集したセミナーを9月に延期、再募集して開催

③ 専門分野集中研修コース

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
1) 溶接技術集中講座	R2.9/3~9/4 (3h×3回)	15	15
2) プレス加工集中講座	R2.10/8~11/2 (3h×5回)	15	19
3) 表面処理集中講座	1月開催予定であったが、緊急事態宣言により次年度に延期	15	-
4) 熱処理技術集中講座	R2.9/25~10/16 (3h×3回)	15	12
5) 知財活用技術講座	R3.3/12 (3h×1回)	10	18
合 計		70	64

④ 生産現場に対応する技術マネジメントコース

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
燕三条ものづくり現場改善基礎講座	R2.6/4~7/17 (2h×6回)	20	17

(2) 経営力強化支援事業 (担当：技術開発課)

(収入決算額：8,196,131円、支出決算額：7,862,430円)

① 企業向け情報・経営研修会の開催

地域企業の経営力向上を支援するため、自社技術や製品を効果的にPRする手法を学ぶセミナーなどを開催した。

・全8コース、28回、59時間、募集83人/実績78人

〈情報系〉

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
エクセル活用講座 (仕事の効率を上げるExcel活用講座)	R2.5/25-6/5 (2h×5回)	10	13
ネット販売のための商品撮影集中講座	R2.11/10-11/12 (2h×3回、 (事前講習は11/9) 1.5h×1回)	10	7
イラストレーター講座 (初心者のためのAdobe Illustrator講座)	R2.12/8-12/15 (2h×3回)	8	8
WordPress入門講座	R3.1/19-1/28 (2h×4回)	10	10
合 計		38	38

〈経営系〉

研修講座名	期間(時間×回数)	募集(人)	実績(人)
中堅・若手社員のコスト意識の育成講座	R2.8/19-9/2 (3h×3回)	10	19
営業力強化セミナー	R2.7/14-8/4 (2h×3回)	15	10
事務職のための業務改善研修	R2.7/20~8/6 (2h×3回)	10	6
人材確保と定着する職場づくり	R2.8/25-9/8 (2h×3回)	10	5
合 計		45	40

② 経営力強化のための個別相談事業

地域企業が抱える経営上の課題や IT を活用した社内事務作業の効率化、自社商品 開発に際しての課題を解決するため、専門家を企業へ派遣して課題解決に向けたアドバイスを行った。

③ 広報活動の強化

最新の企業支援情報をホームページおよびメールマガジンで発信したほか、各種事業の PR とリサーチコアの利用促進のためリサーチコアレポートを発行した。

1) ビジネス情報の提供

センターHP に企業向け支援情報、イベント、セミナー等のビジネス情報やセンター主催事業の年間スケジュールを掲載した。

- ・ビジネス情報掲載件数：56 件

2) メールマガジンの発行

- ・毎月 1 回（年間 12 回）配信
- ・掲載情報件数：94 件
- ・3 月末メルマガ配信登録者数：564 件

3) 広報誌「リサーチコアレポート」の発行(年 2 回)

- ・第 23 号 (R2.12 月)、第 24 号 (R3. 3 月)

4) センター事業の広報に関するワーキンググループの設置

当センターのホームページとともに、各事業で管理しているホームページや SNS（会員制交流サイト）について情報共有し、相互リンクの共通指針をまとめた。

④ ネットワーク関連機器、ホームページの維持管理他

- ・ IT インフラとホームページの維持管理、メンテナンスなどを実施した。
- ・ 情報研修室 OA 機器、研修用ビデオ・DVD の貸出しを行った。

貸出機器名	貸出件数	利用料金	備 考
パソコン・プロジェクター	12 件	639,701 円	情報研修室、貸出し用 PC 他
研修用ビデオ・DVD	60 本	無料	

【5】海外販路支援事業

1 収支決算額

○収入決算額：62,065,397円

(事業収入：1,120,000円、市負担金収入：60,885,922円)

その他収入：59,475円)

○支出決算額：62,065,397円

2 事業の成果

- ◆ **海外販路支援事業**:全世界的な新型コロナウイルス感染症拡大を受け、販路開拓・インバウンド誘客・セミナー開催など、事業全般においてオンラインを活用した事業展開を行った。
- 販路開拓では、展示会出展を計画していた米国と欧州に加え、インバウンド向けの需要喚起も狙って中国と台湾を加えた4市場にて EC モールへの出店を行った。また、BtoB の販路開拓として、世界 12 カ国のバイヤーとオンライン商談会を行った。
- インバウンド誘客においても、オンラインでのセールスやプロモーション、SNS を活用した個人観光客向けのファンづくりに切り替え、コロナ収束後を見据えた観光誘客に努めた。
- セミナーではオンラインを活用し販路開拓を行うセミナーや、最新の EC トレンドなど、コロナ禍において有用と考えられるセミナーを開催した。

3 実施事業

(1) 海外販路支援事業

(収入決算額：62,065,397円、支出決算額：62,065,397円)

① 海外展開プラットフォームの構築

地域企業からおよび地域企業に対する海外展開総合相談ワンストップ窓口を開設し、情報のマッチングを行った。

・相談件数：24件(23社)

② 海外ビジネスマッチング機会の提供

出展を予定していた欧米での展示会中止を受け、ECモールへの出店及び、BtoBのオンライン商談会を開催した。

1) 海外有力市場 EC モール出店事業

コロナ禍における販路開拓と燕三条ブランドの発信を行うために、海外4市場において EC モールへ出店を行った。

1. 欧州市場(令和2年11月1日～令和3年2月28日)

・コーディネータ：Sa:Su Network GmbH

・ECモール名：amazon.de(その他5カ国含む計6カ国のamazonモールで販売)

2. 米国市場(令和2年11月21日～令和3年3月31日)

・コーディネータ：LITAARTISAN 合同会社

・ECモール名：e's JAPAN

3. 台湾市場(令和2年10月31日～令和3年2月28日)

・コーディネータ：(株)ジーリーメディアグループ

・ECモール名：蝦皮購物(ショッピング)+樂吃購(ラーチャーゴー)!

4. 中国市場(令和2年11月27日～令和3年3月31日)

・コーディネータ：shout 合同会社

・ECモール名：中国 Tmall

市場名	参加企業数	出品件数	販売品数	売上金額
欧州	9社	31 アイテム	65品	約 452,000 円
米国	12社	43 アイテム	70品	約 350,000 円
台湾	10社	28 アイテム	172品	約 637,000 円
中国	7社	35 アイテム	124品	約 914,000 円
計	38社	137 アイテム	431品	約 2,353,000 円

※コーディネータと各企業にて取引継続中

2) ベトナムオンライン商談会（ジェトロ連携）

JETRO 新潟が開設した新潟県産品マッチングサイト「ディスカバリー新潟」の活用と現地でのサンプル会を開催し、ベトナム企業とのオンラインによる商談会を実施した。

- ・サンプル会開催日：令和2年10月19日（月）～21日（水）
- ・商談会開催日：令和2年11月11日（水）
- ・参加企業数：17社
- ・成約数（見込含む）：22件商談、16件成約
- ・成約金額（見込含む）：11,120,000円

3) 燕三条オンラインキャラバン商談会（ジェトロ連携）

「ディスカバリー新潟」を活用し燕三条企業と11カ国17社の海外バイヤーとの商談をオンラインにて実施した。

- ・開催日：令和3年2月25日（木）～3月15日（月）のうち8日間
- ・参加企業数：43社
- ・商談数：90件
- ・成約数（見込含む）：61件
- ・成約金額（見込含む）：97,990,000円

③ グローバル市場に向けた商品開発力の強化

自社技術や製品を世界へ発信することを目的とした、グローバルデジタル活用ワークショップを開催した。（デジタル時代総論、Webマーケティング、コンテンツに関する法務・知財、画像・動画作成）

- ・開催日：令和2年9月4日（金）～12月9日（水）（全8回）
- ・参加者：オープンセミナー（2回）45人（30社）、ワークショップ5社

④ 海外展開に関するセミナーの開催

1) オンライン見本市「広州交易会」視察会

- ・開催日：令和2年6月18日（木）
- ・講師：燕三条地場産業振興センター 海外展開支援課 ゴン タオ
- ・参加者：20人（15社）

2) ウェブセミナー ～オンラインによる新たな販路開拓セミナー～

- ・開催日：令和2年7月15日（水）
- ・講師：日本貿易振興機構（JETRO）新潟貿易情報センター 所長 飯田 康久 氏
燕三条地場産業振興センター 産業振興部長 平賀 仁
- ・参加者：32人（27社）

3) 海外ビジネススタッフ育成講座

- ・内 容：これから海外輸出を目指す企業の実務担当者を対象に、輸出に必要なビジネススキルとグローバルマインドを学ぶ講座
- ・開催日：令和2年7月16日（木）
- ・講 師：サイエスト（株） シニアコンサルタント 種村 尚人 氏
- ・参加者：16人（14社）

4) 海外人材養成講座 ～初めての貿易実務とビジネス英文講座～

- ・内 容：貿易実務とビジネス英文の基礎を1日で学ぶオンライン講座
- ・開催日：令和2年9月17日（木）
- ・講 師：トレード・コンシェルジュ Street Smart 代表 法嶋 由昭 氏
- ・参加者：19人（15社）

5) 海外展開支援セミナー ～TPP11の概要と特恵関税の活用メリット～

- ・内 容：「環太平洋パートナーシップに関する包括的および先進的な協定」（通称TPP11）の制度や手続きについて学ぶオンライン講座
- ・開催日：令和2年10月15日（木）
- ・講 師：日本貿易振興機構(JETRO)海外調査部 上席主任調査研究員 長島 忠之 氏
- ・参加者：11人（7社）

6) 中国最新 EC トレンド ～中国 IT の巨人達が投資する最先端の市場とは～

- ・内 容：ソーシャルコマースとライブコマースについて概要と事例を中心に紹介
- ・開催日：令和3年1月20日（木）
- ・講 師：SHOUT 合同会社 共同創業者 沼崎 悠 氏
- ・参加者：9人（7社）

7) 「欧州・米国・台湾・中国」 EC モール 出店報告会

- ・内 容：海外有力市場における EC モール出店を通して得られたノウハウやトレンドを共有する成果報告会を開催
- ・開催日：令和3年3月17日（水）
- ・講 師：Sa:Su Network GmbH、LITAARTISAN 合同会社、Shout 合同会社、
(株)ジーリーメディアグループ
- ・参加者：23人（会場10人、オンライン13人）

⑤ インバウンド誘客事業の実施

1) 新潟県連携インバウンドセールス

1. 台湾旅行会社向けメッセージ動画作成

新潟県の台湾セールスレップを通じて、コロナ禍における燕三条の安全な観光受け入れ態勢を動画で発信した。

- ・閲覧数：443回

2. アジアスノープロモーション（タイ）

東南アジアの有望な訪日旅行市場として期待されるタイにおいて、スノーシーズンの誘客を目的に観光セミナーを実施した。

- ・開催日：令和2年11月9日（月）
- ・参加団体：新潟県10団体、長野県8団体
- ・旅行社数：24社
- ・Webメディア数：4社

3. インドネシア旅行社リモートセールス

インドネシア現地旅行社に対して、リモートにて観光資源を紹介した。

- ・開催日：令和3年1月29日（金）
- ・旅行社数：2社

4. シンガポール旅行社向け観光説明会

シンガポール現地旅行社に対して、リモートにて観光資源を紹介した。

- ・開催日：令和3年2月4日（木）
- ・聴講者：23人

2) 新潟市・佐渡市連携シンガポールインバウンドセールス

個人旅行者のセルフドライブ観光客向けに、Google マップと連動した周遊ルートを作成し Web システム上に提供した。

- ・使用 Web システム：DriveJapan
- ・ルート数：10本

3) インバウンドセミナーの開催

在京のインフルエンサーを招聘し、SNS を通じてシンガポール向けオンラインセミナーを配信した。

- ・開催日：令和2年11月7日（土）
- ・名称：EXPLOING NIIGATA with Cheesie
- ・視聴者数：161人

4) SNS による情報発信

1. JNTO を通じた情報発信

JNTO 会員向けエントリーページからの情報発信

- ・掲載数（採択数）：10件

(Facebook：香港・豪州・タイ・フランス、インスタグラム：豪州・イタリア、Twitter：英国、JNTO ローカル記事：ドイツ、JNTO ニュースレター：カナダ)

- ・いいね数：のべ5,676件

2. インスタグラムによる SNS 情報配信

「TSUBAMESANJO」アカウントによる地域の情報発信

- ・投稿数：115件
- ・フォロワー数：759人

3. 中国 SNS での情報配信

燕三条製の商品や地域の情報を中国の SNS にて情報発信

SNS 名	投稿数	ビュー数
Weibo	73 件	59,260 回
Red	16 件	2,733 回
SMZDM	1 件	3,240 回
大衆点評	112 件	4,598 回

【6】 需要開拓事業

1 収支決算額

○収入決算額：340,455,044円

(事業収入：331,668,061円、その他収入：8,786,983円)

○支出決算額：273,456,725円

2 事業の成果

- ◆ **展示・即売事業**:新型コロナウイルス感染症の影響により、長期休館及びイベントの中止や時短営業などを余儀なくされたが、安心してご来館いただけるようサーマルカメラの導入や衛生管理の徹底を図り、現金に触れることのないキャッシュレス決済の強化など感染症対策に努めた。
また購買意欲の一助となるよう地場産業に関連する実演や体験を継続して開催し、イベントや周辺観光情報を SNS で発信するとともに、インターネットによる商品購入を容易にするため、ネット販売時の送料の見直しやサイトでの商品提案の拡充などを行った。
- ◆ **燕三条駅観光物産センター事業**:新型コロナウイルス感染症の影響を受け、上越新幹線燕三条駅乗降率が大幅な減少となり、比例して燕三条駅観光センターの来館者数、売上も大きく減少となった。感染症対策として館内入口へのサーマルカメラの設置や衛生管理の徹底を図り、規制が緩やかになった観光シーズンには、地場産業に関連する実演や商品 PR の情報発信など、SNS を積極的に活用し集客を図った。

3 実施事業

(1) 展示・即売事業

(収入決算額：303,710,469円、支出決算額：235,632,759円)

① 収入実績

年度	展示出品収入	販売売上収入	外商販売収入	合計
R2	6,670,600円	272,267,514円	17,138,121円	296,076,235円
R元	6,480,600円	395,892,241円	10,682,048円	413,054,889円
H30	6,553,400円	409,575,032円	10,091,171円	426,219,603円

② イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GWフェア	R2. 5 中止 (R元. 4/27～5/6 10日間) (H30. 4/28～5/6 9日間)	中止 (約29,724人) (約22,004人)
お盆フェア	R2. 8/13～16 4日間 (R元. 8/14～18 5日間) (H30. 8/11～16 6日間)	約4,769人 (約12,104人) (約17,007人)
じばさん感謝祭 ※R元 H30 は年末フェア	R2. 12/4～6 3日間 (R元. 11/30～12/1 2日間) (H30. 12/1～2 2日間)	約12,533人 (約10,691人) (約10,772人)
観光バス来館	通年	138台 (1,072台) (1,238台)

※中段():R元年度 / 下段():H30年度実績

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人来館者数	購入金額	免税件数	免税購入金額
R2	176,871人	169人	754,909円	5件	207,184円
R元	276,492人	2,769人	13,989,790円	683件	13,191,548円
H30	263,601人	3,355人	16,439,435円	811件	13,786,226円

④ その他実績

手ぶら観光	レンタサイクル
37人（内外国人0人）	136人

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

（収入決算額：36,744,575円、支出決算額：37,823,866円）

① 収入実績

年度	展示出品収入	販売売上収入	外商販売収入	合計
R2	2,560,440円	31,681,622円	339,368円	34,581,430円
R元	2,508,000円	66,585,485円	1,834,206円	70,927,691円
H30	2,508,000円	70,341,838円	2,030,003円	74,879,841円

② イベント等の実績

イベント名称	開催期間	来場者数
GWフェア	R2中止	中止
	(R元. 5/2～6 5日間) (H30. 4/29～5/6 8日間)	(約2,050人) (約2,389人)
お盆フェア	R2. 8/12～16 5日間	約434人
	(R元. 8/11～15 5日間) (H30. 8/11～15 5日間)	(約2,206人) (約2,451人)

※中段():R元年度 / 下段():H30年度実績

③ 来館者数及び外国人実績

年度	来館者数	外国人来館者数	購入金額	免税件数	免税購入金額
R2	28,648人	43人	114,071円	8件	33,691円
R元	74,781人	1,080人	4,712,535円	282件	4,165,229円
H30	79,642人	821人	5,264,334円	273件	4,761,816円

④ その他実績

手ぶら観光
34人（内外国人2人）

【7】 収益事業

1 収支決算額

○収入決算額：57,308,464円

(事業収入：55,019,469円、県補助金収入：1,920,000円)

その他収入：368,995円)

○支出決算額：33,193,527円

2 事業の成果

- ◆ **他地域連携販売事業**:感染症の状況を注視し万全な対策を施しながらイベントを開催し、燕三条地域内外から多くの集客を図り、オリジナル商品の他県内特産品の販売も併せて行うことで、観光施設のイメージアップと燕三条製品の集約的なPRを行った。また各観光協会や道の駅との交流販売PR事業を同様に実施した。
- ◆ **貸館事業**:定員を半分にするなどの対応をし、新型コロナウイルス感染症の対策を行った。多目的大ホールなど多くのお客様が来館される際の検温をスムーズに行うために、サーマルカメラを導入し利便性を高めた。また、お客様とコミュニケーションを密に取り、スムーズな運営ができるよう心掛け、より良いサービス提供に努めた。
- ◆ **レストラン運営事業**:Bitへのサポート、イベント開催等で連携することにより、レストランのイメージアップを図った。また、会場利用者へお弁当や飲み物の提供を行い、会場利用者への便宜を図った。

3 実施事業

(1) 他地域連携販売事業

(収入決算額：16,395,367円、支出決算額：14,960,016円)

年度	地域外取扱商品販売金額	他地場産センター商品販売金額
R2	12,239,387円	1,585,858円
R元	33,837,398円	1,718,370円
H30	31,212,575円	960,170円

(2) 貸館事業

(収入決算額：32,301,280円、支出決算額：12,425,378円)

【会場利用状況】

・ 施設利用者数：99,127人（前年度149,757人）

・ 施設利用状況（金額・利用率） ※（ ）内数字は内部利用を含む

施設名	令和2年度	令和元年度	平成30年度
<u>メッセピア</u>	20,219,725円	40,758,605円	46,752,994円
1F：多目的大ホール	4.5% (6.7)	18.5% (24.4)	24.2% (29.1)
3F：中会議室	23.7% (23.7)	37.0% (37.2)	36.3% (36.7)
4F：大会議室	24.1% (26.3)	26.3% (27.8)	26.4% (28.8)

特別会議室	1.0% (1.8)	2.7% (4.5)	3.4% (5.2)
小会議室 (和室)	8.5% (8.5)	11.5% (11.5)	20.8% (20.8)
5F：総合研修室	22.5% (23.4)	33.3% (33.9)	34.5% (36.6)
ミーティングルーム	25.5% (25.5)	40.9% (41.4)	40.7% (42.2)
<u>リサーチコア</u>	11,762,147 円	15,226,160 円	16,057,539 円
6F：研修室	19.9% (21.6)	25.3% (26.6)	26.9% (28.0)
7F：マルチメディアホール	17.5% (21.7)	22.7% (25.1)	23.5% (25.5)
合計 (メッセピア・リサーチコア)	31,981,872 円	55,984,765 円	62,810,533 円

(3) レストラン運営事業

(収入決算額：8,611,817 円、支出決算額：5,808,133 円)

(4) 燕三条イタリアン Bit 実績

年度	売上金額	客数	営業手数料
令和2年度	135,608,711 円	37,056 人	5,140,218 円
令和元年度	185,752,269 円	51,972 人	6,393,806 円

附属明細書

令和2年度事業報告には「一般財団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」に規定する附属明細書「事業報告書内容を補足する重要な事項」に該当の事実はありません。